

活動に関するアンケート 報告書

対象：2025年度パラリンアート登録アーティスト

目的

パラリンアートでは登録アーティストを対象に毎年活動に関するアンケートを実施しています。このアンケートを行うことで、活動への理解を深め、アクティブアーティスト（積極的に活動しているアーティスト）の数を増やすことを目的としています。

アンケートの内容は主に以下の内容です。

- ①活動に関する理解を深める（活動規定の理解、新たな規定の周知）
- ②パラリンアート活動に関する意識調査

この報告書では、②についてアーティストの生の声を集約しご報告いたします。

有効回答数

著作者本人：191

代理人登録：62（対応するアーティスト数：98）

[次ページより回答の詳細→](#)

質問項目1 パラリンアートを通して叶えたい夢は何ですか？

回答の傾向

・作品を多くの人に見てもらうこと…	50%
・成長/画家としての目標…	16%
・社会的自立/経済的自立/創作活動と仕事の両立…	12%
・社会参加/障がい者アート普及への貢献/誰かに喜んでもらうこと…	11%

回答抜粋

自分の作品を、色んな方に観てもらいたい。 障害者アートの理解を、社会に認知してもらいたいです。
夢は社会の中で役割を持ち、居場所を作ることです。表現することで、思いを分か合い、誰かのポジティブなエネルギーになれたらいいな、と思っています。私の表現で誰かを励ますことができたらとても嬉しいです。ほっとしたり、嬉しいなと思ってくれたり、気負わず明るい気持ちになれるものを描いていきたいです。これからも大切な誰かに送る手紙のように絵を描いていきたいです。
パラリンアート様を通して、私の作品を多くの方にご覧頂き、笑顔を届けたいです。
採用や、描き下ろしや、コンペを通じて、自分の絵を、心を、障害をも、世に広めていきたいです。
作品を通して少しでも「違い」が創造の源となることが「常識」となる世界へ向かえるように貢献したい。
たくさんの人に絵を見てもらえたら良いなと思っています。絵を見てもらう事が夢です。
自分の作品をたくさんの人に見てもらい、安らぎや癒しの時間を作っていけたら嬉しいです。
絵で社会と繋がり社会貢献ができれば嬉しいです。自分の活動が広がり、絵をみた人の心に響いたら嬉しいです。
創作活動で生活ができるようになること
アートの素晴らしさをみんなに知ってもらいたい。
僕のような重度障がい者でも働ける社会を作りたい。
障害のあるわたしが描くアートで、ウキウキワクワクを伝えたいです。

質問項目 2 パラリンアートに登録して変わったことは何ですか？

回答の傾向

・成長できた/自信がついた/制作意欲が沸いた…	71%
・周囲の理解、環境の変化…	7%
・体調面、精神面の安定…	3%

回答抜粋

私自身が好きになり自信がつけました
1番は自分自身への自己否定が和らぎました。 社会に参加できている喜びを感じるようになりました。
コンペに積極的に参加するようになりました。描いたことないテーマにも挑戦するようになりました。
わたしの世界観が変わり、世の中が広くなりました。色々な経験も、させていただきました。障害を世の中の人に公開することが、怖くなくなりました。 いっぱいあたたかい人たちがおられることがわかりました。
ほぼ毎日、絵を描くという目標を立て、それに沿って、できるようになってきました。（昨年で、20作品近く、登録できました） また、前まで横になりがちな毎日も、少なくなり、体調が安定してきました。
家族や友人知人はもちろん関係者が喜んでくれたり障害者アートそのものに関心を持ってくれたりしたこと
身の回りの人だけではなく、いろんな人に絵を見てもらうことが嬉しく、とても励みになって楽しく描いています。
絵を描くことを親が応援してくれるようになりました。
パラリンアートに登録してから、絵を描くことに対する気持ちが前向きに変わりました。当時、色鉛筆画はあまり多くなかったが、作品が採用されたことで、「自分の絵は価値がある」と実感でき、これまで続けてきた表現は間違っていなかったと確信できました。その経験は大きな励みとなり、今はもっと良い絵を描こうという意欲につながっています
絵を通して自分の内面や考え、心を表現できるようになりました。
アートを続けていて良かった、自分の好きな作品を制作することを諦めなくて良かったと思っています。

質問項目 3 パラリンアートに登録して嬉しかったことは何ですか？

回答の傾向

・採用/受賞/見てもらえること/認められること…	61%
・報酬/商品化/成果物をもらえたこと…	13%
・社会参加/他者とのつながり…	10%

回答抜粋

企業に作品を採用していただいていること。報酬をいただけること。コンテストに挑戦して、昨年初めて入賞したこと。自分の作品が認められて、とてもうれしく思う。
作品が何かに採用されたり、商品化されたりして、間接的に社会に参加できたことが嬉しかったです。
私の絵を採用してくださり、クライアント様始め、家族、作業所のみんな、パラリンアート様もいろんな方が喜んでくれたことです。
絵を描く仲間が増えたこと。同じ障害をもっていながら絵を描くことが好きな仲間が増え、とても嬉しい。
採用された時が一番嬉しかったです。金銭よりも、選んでいただいたことが光栄でした。
初めて使っていただいた絵でいただいた報酬で、母にお菓子を買えたこと。使って頂けたこともうれしかったです。それにより少しでも恩を返せた気がしました。
自分の作品がみんなに見てもらえる事です。 コンテストや企業様からのご依頼を頂くと賞金や報酬もありがたいのですが、誰かの役に立っている、認められていると実感できる事が1番嬉しいです。
成果物を家族に喜んでもらえた事
企業様にご採用いただき、私の作品が商品化されることになりました。 夢が叶うこと、とても嬉しかったです！
実績ゼロから始めてなかなか仕事を得る手段に辿り着けなかったため、現実的にお仕事を割り振っていただけてとても感動しました。
採用を通じて、作品が活かされている実感を得ることができました。 幸せなことですし、とても感謝しています。

質問項目 4 パラリンアートに望むことは何ですか？

回答の傾向

・パラリンアートの認知拡大/幅広い作風の採用/採用機会の創出/イベント開催…	44%
・特になし/パラリンアートが続くこと…	34%
・アートに関するサポートの充実/登録環境の整備…	7%

回答抜粋

パラリンアートがもっと世間に知られ、より大きくなることです。
できればパラリンアート世界大会をまた開催してほしいです。
ずっと続いてほしいと思います。伴走をしてくださっていると勝手ながら思っています。これからもどうか末永くよろしく願いいたします。
固定概念(発達障害の絵とはこういうもの)を崩して幅広い作風を採用してもらえ る機会を増やしてほしい
たくさんの様々な方にチャンスを与えていただけたらと思います。 私と同じように嬉しい思いをする方が増えたら幸せだなあとと思います。
これからも末永く、私を始め、いろんなアーティストさんを支えてくださることを 望みます。
私が、住んでいる町までパラリンアートの活動が知られていないです。活動を広め てほしいです。
他のアーティストとの交流する機会があると嬉しいです。
世間や美術界への認知向上やプロモーション活動の活発化をお願いいたします
作家がやるべきことでもあると思いますが、「障がい者アート」という枠を越えて いく活動ができるようになれば嬉しいです。 私自身の目標でもあるので、諦めずに頑張ります！ 新たに始められている人材事業（障がい者雇用）は、良い取り組みだと思います。
特にないです。いつも一生懸命に支援していただき心から感謝いたします。ありが とうございます。
応募テーマに関係なく、応募された作品の展示会をしてほしいです。
より多くのコンペを開催していただきたいです。
これまでと同じように、ずっと継続してくださることが一番です。

最後に

今回のアンケートを通じて、パラリンアートに登録する多くのアーティストが「自分の作品を多くの人に見てもらいたい」と強く望んでいること、そしてその想いを実現できる場として、パラリンアートの活動に高い満足度を感じていただいていることを改めて実感いたしました。

また、「パラリンアートに望むこと」としては、「さらなる認知拡大」「採用件数の増加」「幅広い作品の採用」といった声が多く寄せられましたが、それに次いで「パラリンアートが長く続くこと」を望む声も数多くいただきました。

この結果から、パラリンアートが単なる作品発表の場ではなく、アーティストにとって“社会とのつながり”や“挑戦の機会”を生み出す重要な基盤となっていることを再認識するとともに、事業を安定的かつ継続的に発展させていく責任の大きさを改めて感じております。

パラリンアートは、登録アーティストとともに“チーム”として活動しております。

アーティスト一人ひとりが、支援される立場だけではなく「作品を通して誰かに良い影響を与えたい」という想いをもちながら創作活動に取り組んでおり、その想いを受け取り、採用という形で社会につないでくださる企業の皆様に深い感謝を抱いています。

今後は、今回いただいたご意見を真摯に受け止め、アーティストがより安心して活動できる環境づくりに取り組むとともに、障がい者アートの価値向上、さらなる採用機会の創出、新たなイベントや交流機会の企画などを通じて、アーティストの活躍の場を一層広げてまいります。

これからも、アートを通じた社会参加の実現と、持続可能な事業運営の両立を目指し、企業・アーティスト・社会をつなぐ活動を推進してまいります。

以上